



84

 うだつと白壁の町並しら かべ まち なみ
徳島県 脇町わきら町

「うだつが上がる」といういまわしに伝えられる、今では珍しくなったうだつのある町並。地域の特産物のネーミングの代表となっている。



データボード

■所在地

徳島県美馬郡脇町南町

■応募者

脇町役場

☎08835-2-1111

吉野川の清流と阿讃山脈の緑につつまれた人口二万の脇町は、江戸中期から阿波藍の集散地として発展した町である。東西に延びる南町通りには、丸瓦、本瓦ぶきの屋根、まっ白な漆くい塗りの大壁、けやきの出格子、虫籠窓、そして妻壁の横に張り出したうだつ、といった重厚な造りの町屋敷が約四三〇メートルの通りの両側に建ち並んでいる。

「うだつがあがらない」ということばの語源ともいわれているうだつは、当初は単に火除壁の実用性からのものであったが、次第に装飾性を帯び、豪華さを増し、家運の隆盛を顕示する象徴となっている。

うだつのある町並は、脇町にしかない景観であり、文化のシンボルとなっている。